

● 記入方法について

= 保証委託契約の連帯保証人確約書 =

通常版

連帯保証人様が遠方にお住まい、連帯保証人の枠が不足している等、保証委託契約書兼保証契約書（基契約）に記入いただけない場合にご利用いただけます。

協定業者さまで基契約書の契約内容を転記し、下段の連帯保証人欄には連帯保証人さまから直筆で署名・捺印をいただいでください。

基契約となるWEB契約書

基契約となるWEB契約書のスクリーンショット。契約開始日、契約プラン、物件情報、保証料、保証会社（ジェイリース株式会社）などの詳細が記載されています。

追加保証人の場合の説明は、新規ご契約の場合はご記入不要です。

保証委託契約の連帯保証人確約書

保証会社：ジェイリース株式会社御中

承認通知書番号	JL-	※承認通知書左上記載の番号をご記入ください。			い05
保証開始日	20 年 月 日	入居区分	単身入居	複数入居	
契約プラン					
初回保証料	円	継続保証料	円/年	毎月保証料	円/月
賃借人	所在地	(〒 -)			
	名称	号室			
賃借人	月額賃料内訳				
	預入金内訳	預入金合計	金	保証金	
賃借人	現住所	(〒 -)			
	氏名	フガナ			

1. 基契約書に基づいて内容を転記してください。

連帯保証人さまの保証限度額 | 契約時の月額総賃料 × 24ヶ月分

私は、貴社と上記賃借人の間で別紙保証委託契約書記載の内容で成立した保証委託契約（以下「原保証委託契約」という。）に基づき当該賃借人が貴社に対し負担する一切の債務（本件保証契約締結の前後を問わない）につき、別紙保証委託契約書記載の内容で当該賃借人と連帯して保証します。

- 私は、原保証委託契約第13条（財産状況の説明）の内容を賃借人から説明を受け、財産状況を理解し、確認の上本確約書を締結します。（事業プラン等は法人契約に限る）
- 私と貴社との間の求償関係について下記の点を確認します。
 - 私は、賃借人と連帯して貴社に対して原保証委託契約に基づく賃借人の一切の債務を保証するものとします（私は、貴社に対し負担割合を主張できません）。
 - 私が、賃借人の負担する賃料等の債務を賃借人にもつ賃借人と併発した場合でも、私はそれにつき貴社に求償することはできません。
- 私は、貴社と上記賃借人の間で成立した原保証委託契約書における私の保証限度額（租屋額）は、次のA（租屋額）とB（租屋額）のいずれか低い額とします。また、保証債務の履行に関する次のBの内容に同意します。
 - （租屋額）……保証限度額は、原保証委託契約締結時の月額総賃料の24ヶ月分とします。
 - （租屋額）……私から賃料等の支払があった場合、賃料等支払日までに滞りなく支払をした場合は保証債務の履行とみなさない。
- 私は、別紙保証委託契約書の連帯保証人欄への署名、押印にて本確約書へ署名、押印します。また、私の本人確認書類として、印鑑証明書を1通添付します。

追加連帯保証人の場合の説明 | 20 年 月 日現在における賃借人の貴社に対する求償債務等（連帯損害金、手数料費）を含む合計 円です。

連帯保証人 | 上記内容及び裏面条文を確認の上、直筆でご署名ください。押印は裏印をご捺印ください。

ご署名日	20 年 月 日
現住所	フガナ (〒 -)
氏名	フガナ
生年月日	年 月 日
連絡先(電話番号)	- - -

2. 連帯保証人さまが直筆でご記入いただき、実印でご捺印ください。

承認通知書番号=WEB契約書内の契約(申込)番号です。

ご記入いただくページと条文ページの2ページで1つの保証人確約書になっています。両面印刷をして、直筆原本をジェイリースへご提出いただき、連帯保証人さまへはコピーを控えとしてお渡しください。両面印刷ができない場合は、片面印刷で必ず2ページをコピーしてお渡しください。

契約書のフッター部分のスクリーンショット。細かい印刷文字が密集している。

基契約書のフッター番号と同じ番号の確約書をご利用ください。